

# 平成26年度 事業報告

社会福祉法人 大阪平成会

## 報告事項 1 平成26年度事業報告について

### I. 事業概要

#### 1. 法人運営について

##### (1) 理事会開催状況

開催日	出席状況	報告事項	決議事項
5月27日 阿倍野区民センター (第1回)	理事12名中 12名出席	1. 平成26年度三部会の開催について	1. 平成25年度事業報告と決算承認について 2. 平成25年度監事監査報告について 3. 施設整備等積立金支出について 4. 評議員1名の選任について
11月25日 阿倍野区民センター (第2回)	理事13名中 12名出席	1. 平成26年度上半期事業報告について 2. 平成26年度上半期決算報告について	1. 評議員2名の選任について
3月24日 阿倍野区民センター	理事14名中 12名出席		1. 平成27年度事業計画について 2. 平成27年度予算計画について 3. 退職金の支給について 4. 給与規程の改正について 5. 評議員29名の選任について

##### (2) 評議員会開催状況

開催日	出席状況	報告事項	決議事項
5月27日 阿倍野区民センター (第1回)	評議員29名中 26名出席	1. 平成26年度三部会の開催について	1. 平成25年度事業報告と決算承認について 2. 平成25年度監事監査報告について 3. 施設整備等積立金支出について
11月25日 阿倍野区民センター (第2回)	評議員27名中 25名出席	3. 平成26年度上半期事業報告について 4. 平成26年度上半期決算報告について	1. 理事1名の選任について
3月24日 阿倍野区民センター (第3回)	評議員29名中 25名出席		1. 平成27年度事業計画について 2. 平成27年度予算計画について 3. 退職金の支給について 4. 給与規程の改正について 5. 理事14名の選任について 6. 監事2名の選任について

### (3) 部会の活動について

#### <労務部会>

- 開催日 平成26年 8月 7日(木)  
場 所 特別養護老人ホームふれ愛丸山荘  
出 席 11名  
内 容 1. 職員の労働災害について  
2. 介護事故に伴う施設賠償について  
①介護事故と法的責任  
②「安全配慮義務違反」「注意義務違反」による賠償責任について  
③過去5間の介護事故における施設賠償について  
④介護事故事例

#### <処遇部会>

- 開催日 平成26年 9月30日(火)  
場 所 特別養護老人ホームふれ愛丸山荘  
出 席 13名  
内 容 1. 三大介護(食事・入浴・排泄)の取り組みについて  
①食事ケアについて  
②入浴ケアについて  
③排泄ケアについて  
2. 処遇部会開催後の経過について

#### <経理部会>

- 開催日 平成26年11月 6日(木)  
場 所 特別養護老人ホームふれ愛丸山荘  
出 席 11名  
内 容 平成27年度 介護保険制度改正について  
① 介護保険改正の経緯  
② 平成27年度介護保険制度改正の主な内容について  
③ 介護予防・日常生活支援事業総合事業の構成  
④ 要支援者の訪問介護、通所介護の総合事業への移行  
⑤ 予防給付から地域支援事業への移行スケジュールについて  
⑥ 特別養護老人ホームの重点項目

### 2. 登記について

- ・資産総額の変更登記は、平成26年5月29日に完了しました。

### 3. 寄付金の収受について

寄付金を次の方より頂きました。

(寄付目的) 施設内植栽の整備のため

- ・南 正博様 1,000,000円

#### 4. 設備改修・備品購入について

平成26年度施設サービス改善等のため、次の整備を実施しました。

(1) 施設敷地内植栽の緑地改修	1,000,000円
(2) 厨房排気ダクト清掃	432,000円
(3) 空調室内機の洗浄	2,052,000円
(4) 1階デイサービス床改修工事	916,600円
(5) 1階娯楽室・2階ハビリ室改修工事	1,391,200円
(6) リフト浴更新改修工事	3,100,000円
合 計	8,891,800円

#### 5. 施設運営について

##### (1) 職員配置状況

各事業とも、人員配置については規定最低基準人員を上回って配置されています。

① 職員配置状況（平成27年3月31日現在）は別紙のとおりで、介護・看護：入居者は2.48：1という現状であります。（尚、計画人員としては、2.3：1）

##### ② 資格保有状況

平成27年3月31日現在

資格名	人数	資格名	人数
社会福祉施設長資格	3名	医師	1名
主任介護支援専門員	9名	社会福祉士	4名
介護支援専門員	19名	社会福祉主事任用	5名
介護福祉士	50名	ホームヘルパー2級	28名
介護職員基礎研修修了	2名	正看護師	10名
介護職員初任者研修修了	1名	准看護師	1名
介護職員実務者研修修了	3名	普通応急手当普及員	3名
管理栄養士	1名	防火管理者	6名
調理師	1名	衛生管理者	3名
柔道整復師	2名	介護予防運動指導員	2名
歯科衛生士	1名	福祉住環境2級	5名
福祉用具専門相談員	5名	福祉住環境3級	3名

##### ③職員動向

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	25年
入職	常勤	1	2	1	4	1	0	0	0	1	0	0	0	10	11
	非常勤	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	5	9
	合計	1	3	1	4	2	0	0	0	1	0	2	1	15	20
退職	常勤	2	1	1	3	4	0	1	1	0	0	2	1	16	11
	非常勤	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	6	4
	合計	3		1	4	4	1	1	1	0	0	3	2	22	15

平成26年度の離職者数は、25年度に比べて7名増の22名となっております。  
 離職率は25.1%（昨年15.2%）であり、特に常勤介護職の退職が多く出ました。  
 補充の入職が上手く繋げられない状態であり、今後は職員の定着率向上のため職場環境  
 の改善や職員教育に力を入れていくとともに、積極的な求職活動を行ってまいります。

#### ④ 施設人事

下記の職員を任命いたしました。

- ・介護部長                      古山 聡志（10 / 1）
- ・在宅副部長                  林 正章（10 / 1）
- ・事務主任                      谷口 茜（10 / 1）

#### (2) 健康管理について

入居者に関する健康管理は、常勤管理医師による日々の回診と配置医師による週2回の往診及び、非常勤精神科医師による月2回の診察により実施しております。

##### ① 協力病院利用状況

平成26年4月～平成27年3月

名称	診療科目	入院者数	通院数
四天王寺病院	内・整・外・循・泌・眼・耳鼻	4人	13人
相原第二病院	内・整・外・循・呼・泌・消	13人	21人
大和中央病院	内・整・外・脳外・心外（救急指定）	21人	4人
愛田クリニック	内・整・外		週2回（月・金）
覚道歯科医院	歯科		随時
出口歯科医院	歯科		随時
千住泌尿器クリニック	泌尿器科		月1回往診
尾上眼科医院	眼科		月2回往診
川内皮膚科	皮膚科		月2回往診
西口診療所	精神科		月2回往診

##### ② 協力病院以外利用状況

平成26年4月～平成27年3月

名称	診療科目	入院者数	通院数
東住吉森本病院	内・外・整・脳神経・リハ他	6人	7人
山本第三病院	内・整・外・脳外	9人	16人
警察病院	総合病院	1人	4人
大阪鉄道病院	総合病院	0人	4人
至誠会病院	産婦人科	0人	1人
富永病院	内・整・脳神経・循環・リハ	0人	1人
矢木脳神経外科病院	脳外・整形外科・総合診療	1人	0人
南大阪病院	内・整・胸部・泌尿器・耳・眼	2人	0人
浪速生野病院	内・整・脳外・皮・歯・眼・耳	2人	0人
大阪市大病院	内・整・胸部・泌尿器・耳・眼	1人	0人

日本橋病院	脳外・整・形成・外	0人	1人
大野記念病院	内・整・胸部・泌尿器・リハ	1人	0人
わたベククリニック	脳外科・心療内科	0人	1人
大阪掖済会病院	内・整・循環・小児・外・リハ	1人	0人
しんとう整形外科	整形外科	0人	8人

(3) 水光熱費について

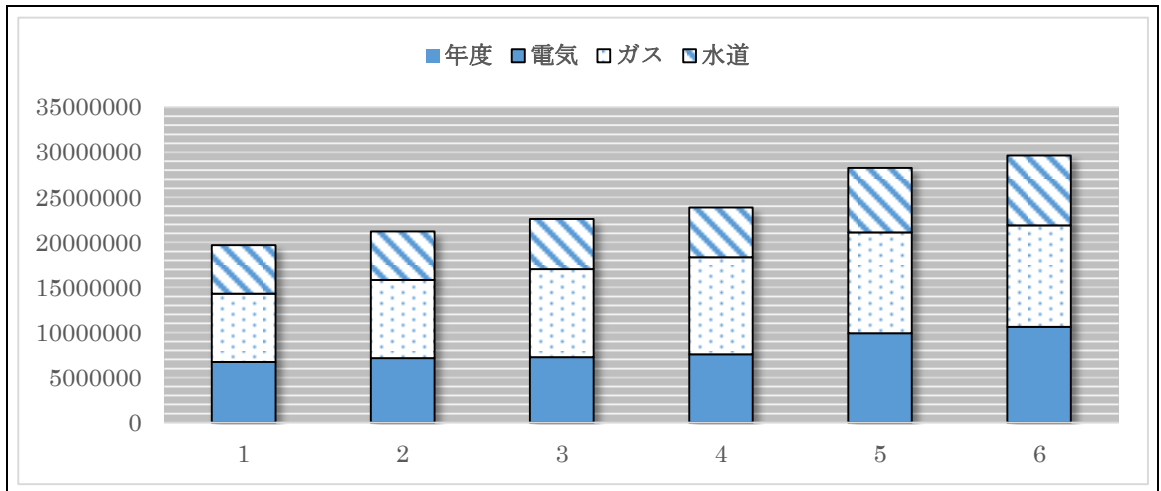
平成26年4月～平成27年3月

		26年度実績①	25年度実績②	差異(①-②)
電気	使用量	502,510	508,880	-6,370
	金額	10,639,148	9,919,889	719,259
ガス	使用量	108,540	119,275	-10,735
	金額	11,245,149	11,190,452	54,697
水道	使用量	19,938	22,323	-2,385
	金額	7,771,963	7,169,144	602,819
合計金額		29,656,260	28,279,485	1,376,775

平成26年度の水光熱費については、25年度と比較して、1,376,775円の経費増となっております。電気・ガス・水道とも、使用料については昨年対比でマイナスとなっております。原因については、昨年に比べて猛暑の日が少なく、又、設定温度を例年より変更したことにより空調の使用が控えられた結果と思われます。しかしながら、電気代の単価高騰及び水道代の福祉減免の廃止により、経費については増加している現状であります。引き続きの温度設定をこまめに確認し、経費削減に努めてまいります。

【水光熱費推移】

年度	21	22	23	24	25	26
電気	6,719,517	7,155,696	7,269,825	7,589,501	9,919,889	10,639,148
ガス	7,598,656	8,675,096	9,773,626	10,752,537	11,190,452	11,245,149
水道	5,370,278	5,388,265	5,540,400	5,525,406	7,169,144	7,771,963
合計	19,688,451	21,219,057	22,583,851	23,867,444	28,279,485	29,656,260
増減	▲3,568,177	1,530,606	1,364,794	1,283,593	4,412,041	1,376,775
					電気単価 27.4%up ガス単価 13.7%up	消費税 3%up



(4) 職員研修状況について

① 外部研修参加状況について

平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月

日時	講習名	参加者
H26.4.15	新入職員のためのサービスマナーセミナー	出島
H26.4.22	地域包括支援センター介護予防支援業務新任者研修	笥
H26.5.20～22	平成26年度 応急手当普及員講習	仲井・藤岡
H26.5.30	福祉と人権の研修ネットワーク大阪	北田
H26.6.3	次期報酬改定に向けて！通所介護事業所の運営を考える	古山・竹本
H26.6.5	特別養護老人ホーム入所あっせんについての研修会	笥
H26.6.5	新入職員へのスーパービジョンの基礎	小林
H26.6.14	メディカルサポートセミナー「褥瘡対策を考える」	石川
H26.6.16・17	地域包括支援センター職員基礎研修	笥
H26.6.17	平成26年公正採用選考人 人権啓発推進員「新任・基礎研修」	濱口
H26.6.20	高齢者虐待対応初任者研修	笥
H26.7.8・23	大阪市認知症介護実践者研修	松裏
H26.7.7	福祉職員研修（指導的職員）	岡田
H26.7.4,15,22	施設職員の心のケアを考える	講座1 堀本
	施設職員の心のケアを考える	講座2 田原
H26.7.18	事故予防と緊急時対応	岩井
H26.7.23	メンタルチェック義務化の最新動向と正しい対応法	仲井
H26.7.15	地域包括支援センター総合相談窓口職員認知症対応力向上研修	笥
H26.7.11	地域包括支援センター職員研修（初任者）	林
H26.8.5	高齢者虐待における初動期対応について	北口
H26.11.6	特養分科会看護職員研修会（特養における「看取り」を通して看護職と介護職の連携を考える）	山下

26.11.28	高齢者ケア施設の課題解決のために	奥田
26.12.16	地域包括支援センター職員課題別研修会	林
26.12.24	地域ケア会議について	北口
H27.1.8・13・	大阪市認知症介護実践者研修	大塚
27.1.20～21・ 27～28	平成26年度 介護福祉実習指導者講習会	田原
27.1.22	実務者会議・拡大版研修会	林 中西
26.2.17	ストレスマネジメントセミナー	木下 中川
26.3.3	福祉人材の定着及びスキルアップ研修	古山
26.3.10	緊急時の介護～とっさの症例判断対応～	畔田
27.3.25	困難事例の対応	北口

② 施設内研修状況について

平成26年 4月～平成27年 3月

【全体研修】

日時	講習名	参加者
H26.5.8	相談面接の技法(伝達研修)	全職員
H26.6.5	援助者としてのコミュニケーションスキル1	全職員
H26.6.10	援助者としてのコミュニケーションスキル2	全職員
H26.6.12	地域活動協議会について	全職員
H26.6.27	安全運転講習会	全職員
H26.7.16	高齢者虐待防止について	全職員
H26.8.14	メンタルヘルス対策(伝達研修)	全職員
H26.8.8	褥瘡予防とスキンケア(伝達研修)	全職員
H26.9.19	普通救命講習会	全職員
H26.10.9	感染症予防と食中毒	全職員
H26.11.13	介護保険改正について	全職員
H26.12.4	認知症とは	全職員

【特養】

H26.4.12	介護技術研修1(キャリアパス研修)	介護職員
H26.4.18	介護技術研修2(キャリアパス研修)	介護職員
H26.12.15	排泄ケアについて①	介護職員
H27.1.19	排泄ケアについて②	介護職員

【デイサービス】

H26.6.4	送迎時の安全について	デイ職員
H26.9.3	緊急時の対応について	デイ職員
H26.11.5	サービスの質と顧客満足について	デイ職員



**【ヘルパーステーション職員】**

H26.8.18	介護現場のリスクマネジメント	ヘルパー職員
H26.11.17	誤嚥性肺炎の予防	ヘルパー職員
H27.1.19	インフルエンザ予防について	ヘルパー職員

**【居宅介護支援】**

H26.11.5	老いと認知症について	ケアマネジャー
H27.3.4	介護保険改正について	ケアマネジャー

## (5) 施設内介護事故の状況について

平成26年4月～平成27年3月

## ① 平成26年度の施設内介護事故を集計すると、次のとおりです。

発生件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26年	7	18	21	18	15	15	10	9	20	14	9	15	178
25年	7	12	14	19	14	13	1	9	9	11	10	13	125
差	0	+6	+7	-1	+1	+2	+9	0	+11	+3	-1	+2	+53

平成26年度における事故件数は合計178件で、平成25年度と比較して、53件増加しております。平成26年度下半期では原因不明の骨折が数件発生しました。入居者の高齢化、重度化が進んでいる中、骨粗鬆症の入居者の方も増えており、丁寧な介助の徹底と一人一人の入居者のリスク管理や介助方法の指導を強化し、事故防止に取り組んでいきます。

## \* 主な介護事故における年度推移

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
転倒	69	63	50	32	27	26
転落/車椅子	23	47	10	3	2	1
転落/ベッド	47	27	14	3	1	2
異食	13	16	2	1	3	10
皮下出血・打撲等	25	41	44	48	13	51
小計	177	194	120	102	46	90

## ② 平成26年度の入院を伴う介護事故報告 5件

日付	種類	発見・発生場所	傷病名	事故内容・防止対策
5.18	座り込み	居室	左膝骨折	【内容】 昼より立ち上がろうとされ、バランスを崩し後ろに座り込む。その後、左膝の痛み訴えあり、受診し骨折との診断。 【対策】 離床センサーが鳴った後、訪室したが間に合わなかった。転倒歴もあったため、転倒リスクの高い利用者には頻回な訪室とセンサー反応時は出来るだけ早く対応するよう心掛ける。
7.29	転倒	居室	左大腿骨頸部骨折	【内容】 就寝前、居室半ばまで歩行の付き添いをし、入眠を促し離れたところ、ベッド横で転倒。 【対策】 原則、転倒リスクのある利用者についてはベッドで横になるまで安全確認する。
8.14	原因不明	居室	左大腿骨骨折	【内容】 夜間オムツ交換時、左大腿部が腫れていることに気づく。翌日受診し骨折と診断。 【対策】 骨粗鬆症のため、日常の介助時に配慮する。又、異常が見られた場合は速やかに受診する。

1.14	原因不明	居室	右大腿骨内顆骨折	<p>【内容】介助時に右膝を痛がられるため確認すると腫脹あり、受診し骨折との診断。</p> <p>【対策】骨粗鬆症の状態をしっかりと把握し介助方法の見直しを行う。</p>
3.12	原因不明	食堂	右第10肋骨骨折	<p>【内容】胸部に皮下出血発見。痛みもあり受診し骨折と診断。</p> <p>【対策】立位不安定な利用者の介助方法の見直しを行う。</p>

(6) 施設内身体拘束実施者の状況について

平成26年度において身体拘束の対象者は1名でした。皮膚疾患があり、掻き毟りにより状態悪化しており、治療目的の一環として両手にミトンを装着して治療を行っています。完治次第ミトン装着を外すことといたします。

(7) 施設内褥瘡発生者の状況について

平成26年4月～平成27年3月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ステージⅠ	1	1	1	0	0	1	1	1	1	3	2	1
ステージⅡ	2	3	3	4	3	0	2	2	0	0	4	3
ステージⅢ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合計	3	4	4	4	3	2	3	3	1	3	6	5

平成26年度の褥瘡発生者は月別で表すと上記のとおりです。下半期の発生者の状況の中では、体調不良により入院し、入院中に褥瘡が発生し、退院してこられるケースが数件ありました。施設内では褥瘡予防に努め重度な発生者は防げている現状であります。

(8) 外出サービスの状況について

平成26年4月～平成27年3月

実施月	行先	人数
4月	喫茶 カフェグリーン	入居者様1名 職員1名
	大阪城公園	入居者様9名 職員6名 家族3名
5月	咲くやこの花館	入居者様2名 職員2名
6月	近隣散歩	入居者様2名 職員2名
	かごの屋	入居者様2名 職員2名
7月	喫茶 カフェグリーン	入居者様1名 職員1名
	近隣散策	入居者様2名 職員2名
	夏祭り外出	入居者様3名 職員3名
8月	QZモール	入居者様2名 職員2名
	地蔵盆祭り	入居者様5名 職員5名
9月	QZモール	入居者様2名 職員2名
	天王寺動物園	入居者様6名 職員5名 家族2名
10月	うどん屋つるはん	入居者様2名 職員2名
	ハルカス	入居者様6名 職員5名 家族1名
12月	昔洋食 みつけ亭	入居者様2名 職員2名
1月	王子神社に初詣	入居者様5名 職員5名

※外出サービスについては、利用者は原則車椅子利用でマンツーマン対応としています。

## (9) 施設内行事等の状況について

平成26年4月～平成27年3月

実施日	行事名	内 容
4月30日	愛護丸山宮年 大祭	2階庭園の愛護丸山宮にて年大祭を実施。
5月 5日	端午の節句	各フロアにて季節にちなんだレクリエーションを実施。
4月29日～	菖蒲湯	菖蒲を湯船に浮かべ、季節を肌で感じていただく。
7月 7日	七夕	笹に願い事を飾り、季節感を感じていただく。 聖愛幼稚園の園児と共に七夕行事を実施。
7月26日	納涼祭	入居者様・家族様・地域・ボランティア等総勢300人程参加。
8月 6日	お盆法要	正園寺住職にて法要。入居者・職員献花する。
8月29日	スイカ割	夏の風物詩であるスイカ割を楽しみ、季節感を感じて頂く。
9月 7日	敬老祝賀会	入居者の長寿を祝い、ボランティアにて催しを披露。
10月12日	3階家族 交流会	ホットケーキを入居者様と家族様と一緒に焼いて懇親を深める。
11月 1日	文化祭	入居者様のクラブの作品をフロアに展示する。
12月8～10	忘年会	すき焼きの鍋を囲み、一年の労をねぎらう。
12月15～21	ゆず湯週間	ゆずを湯船に浮かべ季節感を味わっていただく。
12月24日	クリスマス会	職員がサンタに扮し、入居者様にプレゼントをする。
1月 7日	初詣	1年間を健康に過ごせるよう王子神社に参拝に行く。
1月11日	新年祝賀会	新年の門出を祝い催しにて初笑いしていただく。
2月 3日	節分	職員が鬼に扮し、各フロアにて豆まきを行う。
3月29日	4階家族 交流会	フロアにてケーキをデコレーションし、入居者様とご家族と懇親を深める。

## (10) ボランティアの受け入れ状況について

平成26年4月～平成27年3月

活動部署	団体名・個人名	内 容
特養・デイ	丸山地区社会福祉協議会	毎月第1第3日曜日ふれ愛喫茶
特養・デイ	阿倍野区ボランティア推進協議会	喫茶、手芸クラブの補助
特養・デイ	ももの木	本の読み聞かせ、レクリエーション
特養・デイ	花の会	生け花の展示
特養	萩野会	車椅子ダンス
特養	津田 和美様	押し花クラブ講師
デイサービス	市民ミュージック倶楽部	楽器による演奏と歌
デイサービス	さわやか18	歌体操
デイサービス	キューポラ	楽器による演奏と歌
デイサービス	キリスト教短期大学	ハンドベル演奏

デイサービス	保田 穂様	かみしばい
デイサービス	北村 義博様	フィーリングアート

(11) 実習の受け入れ状況について

平成26年4月～平成27年3月

①介護体験

同志社大学	佛教大学
-------	------

②介護実習

団体名	実習内容
大阪国際福祉専門学校	介護福祉士実習
関西社会福祉専門学校	介護福祉士実習
四天王寺大学短期大学部	介護福祉士実習
ジョブシティカレッジおもちゃ館	介護職員初任者研修

## II. 各事業報告

### 1. 特別養護老人ホーム

#### (1) 入居者状況報告 (平成27年 3月31日現在)

##### ① 入居者年齢構成

	人数	平均年齢
男性	14人	88.3歳
女性	74人	87.1歳
計	88人	87.2歳

##### ② 介護度状況

	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	計
男性	0人	0人	1人	3人	9人	13人
女性	0人	0人	9人	24人	42人	75人
計	0人	0人	10人	27人	51人	88人

##### ③ 介護度別各階入居分布

	2階	3階	4階	計	昨年比較
介護度1	0人	0人	0人	0人	0人
介護度2	0人	0人	0人	0人	0人
介護度3	3人	4人	4人	11人	0人
介護度4	11人	9人	6人	26人	-7人
介護度5	18人	17人	16人	51人	+8
合計	32人	30人	26人	88人	
介護度平均	4.46	4.43	4.46	4.45	+0.08

##### ④ 最高齢者

性別	年齢	介護度
男性	95歳	5
女性	104歳	5

##### ⑤ 100歳以上の入居者(6人)

性別	年齢	要介護度
女性	104歳	5
女性	102歳	5
女性	101歳	4
女性	101歳	5
女性	100歳	5

女性	100歳	5
----	------	---

⑥ 入退居状況

ア. 退居者（合計20人）

退居者	退居理由	在籍期間
	長期療養が必要なため	2年 5ヶ月
	長期療養が必要なため	3年 7ヶ月
	入院中逝去	6年 3ヶ月
	入院中逝去	2年10ヶ月
	長期療養が必要なため	3年10ヶ月
	入院中逝去	10ヶ月
	施設内で看取りのため	4年 5ヶ月
	入院中逝去	6年 6ヶ月
	長期療養が必要なため	7年 5ヶ月
	長期療養が必要なため	1年 4ヶ月
	長期療養が必要なため	3年 2ヶ月
	入院中逝去	1年 5ヶ月
	入院中逝去	4年 3ヶ月
	入院中逝去	10ヶ月
	入院中逝去	8年 4ヶ月
	入院中逝去	8年 9ヶ月
	入院中逝去	5年10ヶ月
	入院中逝去	2年 0ヶ月
	入院中逝去	6ヶ月
	長期療養が必要なため	4年 0ヶ月

イ. 入居者（合計 21人）

入居者	年齢	介護度	入居日	入居理由
	100歳	5	平成26年 4月 7日	家族介護困難
	84歳	5	平成26年 4月23日	家族介護困難
	76歳	3	平成26年 6月 2日	家族介護困難
	89歳	4	平成26年 6月 5日	家族介護困難
	75歳	4	平成26年 6月23日	家族介護困難
	93歳	3	平成26年 6月24日	家族介護困難
	86歳	3	平成26年 7月19日	家族介護困難
	71歳	5	平成26年 8月 2日	家族介護困難
	77歳	3	平成26年 8月11日	家族介護困難
	98歳	5	平成26年 8月25日	家族介護困難



	96歳	5	平成26年 9月17日	家族介護困難
	79歳	4	平成26年10月16日	家族介護困難
	93歳	5	平成26年12月 2日	家族介護困難
	97歳	4	平成26年12月 8日	家族介護困難
	79歳	4	平成26年12月25日	家族介護困難
	80歳	3	平成27年 1月19日	家族介護困難
	80歳	4	平成27年 1月21日	家族介護困難
	77歳	3	平成27年 1月22日	措置入所
	93歳	4	平成27年 2月17日	家族介護困難
	90歳	5	平成27年 2月19日	家族介護困難
	67歳	4	平成27年 3月28日	家族介護困難

## (2) 運営面

特別養護老人ホームにおいては、年平均介護度4.40で、25年度年平均比較+0.3の重度化が見られました。稼働率においては96.2%、25年度比較で稼働率、-0.1%特養・ショート合算では99.4%で、25年度比較+0.8%となっており、開設以来にない高稼働率を維持できております。

稼働率維持の要因として、看護、介護、相談員の密な連携により、26年度は入院者が少なく、又、長期入院者も少なかったことが理由と考えられます。引き続き入居者の健康管理、入院者の病状把握、事故防止等に留意して、稼働率の安定を図ります。

月	介護度	平均入院者数	稼働率	ショート合算
4月	4.36	3.4	96.1%	96.1%
5月	4.33	3.7	95.7%	98.0%
6月	4.32	2.8	96.9%	96.9%
7月	4.34	2.6	97.1%	98.9%
8月	4.37	3.3	96.4%	100.0%
9月	4.39	4.2	95.3%	100.1%
10月	4.40	4.7	94.7%	100.6%
11月	4.47	1.7	98.1%	101.1%
12月	4.47	2.2	97.7%	100.1%
1月	4.48	3.0	96.7%	100.3%
2月	4.46	4.9	94.5%	96.8%
3月	4.48	4.1	95.3%	100.5%
<b>平均</b>	<b>4.40</b>	<b>3.4</b>	<b>96.2%</b>	<b>99.4%</b>
平成25年度	4.10	3.3	96.3%	98.6%

## 2. 短期入所生活介護事業所

ショートステイについては、特養と一体で運営しており、上半期平均介護度3.2、平均稼働率122.0%、25年度比較で+10.9%の稼働率アップという結果となりました。下半期にかけて新規利用者の申し込み及び利用日数延長等の依頼も増えており、日頃から居宅介護支援事業所のケアマネジャーと連携を密にし、特に緊急依頼の受け入れ等、迅速な対応を心がけ稼働率アップに繋げることが出来ました。

月	利用延べ人数	平均介護度	稼働率
4月	431	3.3	110.5%
5月	484	3.4	112.8%
6月	400	3.4	97.1%
7月	459	3.2	110.9%
8月	458	3.2	118.3%
9月	458	3.2	138.8%
10月	505	3.3	148.1%
11月	413	3.1	125.5%
12月	471	3.0	124.3%
1月	493	3.1	125.5%
2月	383	3.1	114.0%
3月	519	3.2	138.0%
<b>平均</b>	<b>388.7</b>	<b>3.2</b>	<b>122.0%</b>
平成25年度	427.2	3.5	111.1%

## 3. 通所介護事業 定員40名

平成26年度においては平均介護度2.49、平均稼働率78.2%と、25年度比較で-10.5%と大幅な稼働率減となりました。上半期に利用者の入院、入所での解約が相次ぎ、新規利用者の利用率が追い付かなかったこと、又、営業努力が足りなかった結果と考えられます。10月より日曜日営業を開始し、下半期の間で少しずつ新規利用者が入り3月末では日曜日20名程の利用者まで増えてきましたが、今後は継続性のある営業活動を行い、稼働率の向上に努めてまいります。

月	営業日数	利用延べ人数	平均介護度	稼働率
4月	26日	878人	2.56	84.4%
5月	27日	875人	2.51	81.0%
6月	25日	811人	2.53	81.1%
7月	26日	876人	2.53	84.2%
8月	26日	824人	2.49	79.2%
9月	26日	874人	2.47	84.0%
10月	31日	865人	2.48	69.8%
11月	30日	862人	2.47	71.8%

12月	30日	886人	2.41	73.8%
1月	27日	822人	2.45	76.1%
2月	28日	857人	2.51	76.5%
3月	31日	992人	2.52	80.0%
<b>平均</b>	<b>28日</b>	<b>869人</b>	<b>2.49</b>	<b>78.2%</b>
平成25年度	26日	915人	2.65	88.7%

#### 4. 居宅介護支援事業所

平成26年度においては、平成25年度と比較してプラン数が月平均22.6件減少いたしました。26年度においては、今後の介護予防事業の方向性（総合事業を含めて）やケアマネジメントの在り方を検討し、人事体制を変更したため件数減となっています。引き続き地域住民からの相談に迅速に対応すると共に、地域包括支援センターとの連携を十分に行い、新規獲得に努めてまいります。

月	ケアプラン数	実績		
		介護	予防	合計
4月	170件	112件	34件	146件
5月	172件	111件	32件	144件
6月	152件	107件	32件	139件
7月	151件	101件	28件	129件
8月	152件	107件	22件	129件
9月	159件	106件	28件	134件
10月	156件	108件	25件	133件
11月	159件	110件	24件	134件
12月	159件	107件	26件	133件
1月	161件	99件	28件	127件
2月	157件	99件	29件	128件
3月	159件	103件	31件	134件
<b>平均</b>	<b>158.9件</b>	<b>105.8件</b>	<b>28.3件</b>	<b>134.2件</b>
25年度	176.3件	119.0件	32.8件	156.8件

#### 5. 訪問介護事業

26年度は、平均介護度1.32と、昨年に比べ要介護状態の重度利用者の減少及び要支援の利用者の増加が見られました。利用時間数については-41.9時間と若干の減少がありました。要介護利用者の永眠や施設入所により身体介護の減少による収入減が見られています。今後も身体介護の件数を増やせるよう他事業所との連携を密にし、新規獲得に繋がります。

月	平均介護度	登録件数（実績件数）	活動時間
4月	1.27	95件（95件）	837.2H
5月	1.32	96件（96件）	845.5H

6月	1.39	96件(93件)	767.2H
7月	1.41	95件(95件)	837.4H
8月	1.36	95件(95件)	812.8H
9月	1.35	94件(94件)	803.6H
10月	1.28	94件(93件)	894.4H
11月	1.25	95件(93件)	847.7H
12月	1.26	96件(96件)	832.7H
1月	1.30	91件(91件)	736.4H
2月	1.31	93件(93件)	749.8H
3月	1.39	94件(93件)	864.3H
<b>平均</b>	<b>1.32</b>	<b>94.5件(93.9件)</b>	<b>819.1H</b>
平成25年度	1.41	93件(92件)	861.0H

#### 6. 福祉用具貸与事業

26年度は、月平均利用者数48件で、レンタル品数は、+17件との結果となりました。引き続き介護支援専門員との密なコミュニケーションを図る等、営業努力を行ってまいりました。今後も新規利用者確保の為に、迅速な対応と介護支援専門員との連携の充実を実施して、売上額の確保を図ります。

月	レンタル利用者数(実績)	レンタル品数	新規契約数
4月	46件	129	6
5月	49件	127	3
6月	48件	122	0
7月	48件	131	9
8月	50件	134	4
9月	50件	136	6
10月	49件	136	1
11月	51件	157	2
12月	51件	163	1
1月	48件	155	1
2月	44件	144	0
3月	44件	146	2
<b>平均</b>	<b>48件</b>	<b>140</b>	<b>2.9</b>
25年度	48件	123	1.8

## 7. 地域包括支援センター

### ①総合相談事業

内容区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
家族・家庭問題	3	18	8	8	2	13	10	1	3	2	13	5	7.1件
経済・生活問題	36	24	31	31	27	55	66	28	40	41	33	30	36.8件
介護サービスに関すること	36	40	15	15	27	18	10	12	11	37	20	9	20.8件
介護予防サービスに関すること	38	36	41	41	43	45	23	38	17	38	31	18	34.1件
介護予防事業に関すること	5	7	11	11	13	7	40	13	1	7	6	1	10.2件
福祉サービスに関すること	1	3	0	0	1	0	0	0	1	0	0	3	0.7件
保健・医療に関すること	11	38	12	12	2	6	2	2	6	10	5	4	9.2件
虐待に関すること	0	6	0	0	0	2	9	2	2	1	11	3	3件
成年後見制度に関すること	0	2	0	0	0	0	0	0	2	3	1	4	0.6件
生きがいづくり	0	0	0	0	1	0	2	0	3	2	0	1	0.8件
その他	4	6	6	6	2	3	5	0	6	3	1	5	3.9件
合計	135	128	129	92	92	145	167	96	92	144	121	83	118.6件

圏域内の地域包括ケアを有効に機能させるために、中部地域包括支援センターの周知活動に力を入れ、他事業所及び行政との継続的な連携をとっており、相談件数も昨年と比べ増加しております。内容としては、介護及び介護予防サービスに関することが多く、随時在宅介護サービス事業者に繋いでおります。また、医療機関との連携も強化しており、相談も増えてまいりました。平成26年度においては、独居高齢者の経済的支援や経済的搾取の相談の対応を数件行っており、弁護士や司法書士との連携を強化してまいりました。今後も周知活動を基本として、圏域内の高齢者が日常生活する店舗等にパンフレットを配り、更なる周知を図ってまいります。

### ②介護予防支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
直プラン	137	131	127	134	132	130	138	138	139	134	140	137	134.7件
委託プラン	256	263	267	280	275	276	289	296	301	293	291	287	281.2件

地域包括支援センターの運営基盤となる介護予防プランにつきましては、平成25年度より包括担当職員の担当件数が25件から20件になり直プランの報酬の増加は大きくみられませんでした。委託プランが昨年と比較し653件増加したことにより収入増がみられました。今後も介護予防専任ケアマネの担当件数の維持を図り、地域包括支援センターの周知活動と併せて、迅速な対応を基本とし、新規プランの獲得を図ってまいります。

### ③介護予防事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
二次予防事業参加件数	45	43	48	44	43	43	44	47	47	42	42	45	44.4 件

地域の高齢者が少しでも介護状態にならないよう、大阪市の取組として、平成25年度も引き続き基本チェックリストを65歳以上の高齢者に送付し、介護予防事業への参加を促しています。

今後は更に介護予防の強化に向けての取り組みに対し、地域包括支援センターとしても求められており、包括支援業務の大きな柱として、更に地域の高齢者が住み慣れた地域で健康で生き生きと生活していただけるよう、介護予防事業に繋げてまいります。

阿倍野区中部地域包括支援センターにおいては、平成24年度より大阪市より委託を受けて事業運営しておりますが、委託期間としては平成24年度～平成27年度の4年間であり、平成27年度は契約満了となります。但し、継続更新については平成27年度中に公募制となりますので、再公募をして今後も当法人が委託事業運営を実施していきたいと考えております。尚、継続更新契約の際には、当理事会にてご報告させていただきます。